

4 データの活用

5 四分位数・箱ひげ図1

月 日 ()

1 徳島県立高校 (R4年) ★

右の表は、クイズ大会に参加した11人の得点である。この表をもとにして、箱ひげ図をかくと、下の図のようになった。a, bの値をそれぞれ求めなさい。

13, 7, 19, 10, 5, 11, 14, 20, 7, 8, 16 (点)
--

5 国立高専 (R4年) ★

ある試験における10名の生徒の点数は、下の表のようになった。このとき、点数のデータの第2四分位数(中央値)は[]点である。また、第3四分位数は[]点である。

生徒	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
点数(点)	2	4	2	7	2	2	7	10	2	4

2 鹿屋中央高校 (R4年) ★★

ある中学校で、3年生50人の生徒の通学時間について調べた。下の表は、生徒50人の通学時間を度数分布表に整理したものであり、図は、箱ひげ図に整理したものである。ただし、表の一部の数値は空欄になっている。

階級(分)	度数(人)	累積度数
以上 未満		
0~5	5	5
5~10	x	
10~15	10	
15~20	12	
20~25	y	
25~30	6	50
計	50	-

(1) 20分以上25分未満の階級の累積度数を求めよ。

(2) 表において、第1四分位数がふくまれる階級の階級値を答えよ。

(3) 第3四分位数は通学時間が短いほうから何番目の生徒の通学時間か、答えよ。

(4) x, yの取りうる値の組のうち、yの値がもっとも小さくなる組を求めよ。

6 筑波大附属高校 (R4年) ★★

1問5点で、20問の100点満点のテストを8人が受けたとき、結果を右のような箱ひげ図になった。このとき、平均点は[]点である。

7 早稲田実業高等部 (R4年) ★★

右の表は、あるクラスの小テストの結果をまとめたものである。この得点データを箱ひげ図に表せ。

得点(点)	2	3	4	5	6	7	8	9
人数(人)	3	8	6	10	7	4	1	1

3 滝川第二高校 (R6年) ★★

図1は、クラスの生徒30人の数学の小テストの得点をヒストグラムで表したものです。下の図2のア~オの箱ひげ図から、図1に対応するものを選び、記号で答えなさい。

① AグループとBグループの範囲および四分位範囲はそれぞれ等しい。

② Bグループは7点以上の人が5人いる。

③ Aグループの最高点は1人である。

④ Bグループの最高点は1人である。

(2) Aグループの平均点を求めなさい。

4 お茶の水女子大附属高校 (R6年) ★★★

箱ひげ図は、8人のAグループと9人のBグループの10点満点の小テストの結果を表している。

(1) 次の①~④について、正しいものには○、間違っているものには×、正誤が判断できないものには△を記入しなさい。(右へつづく)

(3) Bグループの平均点は何点以上であるか答えなさい。